

東北支部共催行事

シンポジウム開催

「放射光を用いたナノ・ミクロの表面・バルク解析」 ～ソフト・ハード X 線による極限的評価～

開催日: 平成26年1月27日(月)

場所: 東北大学 片平北門会館2F「エスパス」

主旨: 放射光を用いた無機材料の表面・バルクの解析技術は益々向上しており、多くの未解明な現象が明らかにされつつある。本シンポジウムでは、各研究者から最新の放射光技術を用いて調べられてきた研究例等について紹介していただく。各講演においては、基本的な測定原理や測定される情報の内容等についてもお話いただき、この研究分野の今後の展望等についても議論する予定である。

主催: 東北大学・多元物質科学研究所

共催: 日本金属学会・東北支部

協賛: 日本鉄鋼協会・東北支部

講演題目と講演者

13:30-14:10 招待講演

「リアルタイム光電子分光による Si 表面酸化反応機構の解明」

東北大学・多元物質科学研究所 小川修一 先生

14:10-14:50 招待講演

「X線の多重散乱現象を利用した Si 酸化膜/Si 界面下の微小ひずみの研究」

東北大学・多元物質科学研究所 矢代航 先生

(休憩)

15:10-15:50 招待講演

「三次元走査型光電子顕微分光法を利用した軟 X 線領域における各種デバイスの表面・界面分析」

東北大学・多元物質科学研究所 永村直佳 先生

15:50-16:30 招待講演

「XMCD による 3d 遷移金属ナノ構造の磁性研究」

東北大学・原子分子材料科学高等研究機構 白木将 先生

16:30-17:10

「X 線回折におけるラインブロードニングを用いた金属ミクロ組織解析」

東北大学・金属材料研究所 佐藤成男 先生

17:10- 総合討論

【世話人】 鈴木 茂 (東北大・多元研: ssuzuki@tagen.tohoku.ac.jp)